

資料 2

統廃合に関する主な意見・要望とこれに対する対応等

保護者対象アンケート調査（調査年月：平成 26 年 6 月）

対 象 者	対象者数	回答者数	回収率
富士見小学校 5・6 年生保護者	259 人	71 人	27 %
狭山台小学校 5・6 年生保護者	191 人	68 人	36 %
新狭山小学校 5・6 年生保護者	15 人	9 人	60 %
東中学校 1 年生保護者	129 人	55 人	43 %
中央中学校 1 年生保護者	148 人	15 人	10 %
狭山台中学校 1 年生保護者	112 人	31 人	28 %
合 計	854 人	249 人	29 %

通学について

No.	主 な 意 見 ・ 要 望	対 応 等
1	狭山台中学校で自転車通学を認めてほしい	自転車通学の許可については、距離だけでなく安全面等も総合的に判断したうえで、学校で決めることとなります。
2	自転車通学が認められた場合でも、雪や雨の日などはバス通学を認めてほしい	通学の方法については、各学校の判断によります。
3	暗い箇所には街灯を設置してほしい	防犯灯は、自治会で管理をしていることから、学校や保護者の要望がまとまった段階で、関係自治会と調整します。
4	入間川の雑木林を通る狭山台中学校の通学路は、暗くて危険だ	統合後の通学路は、PTAの校外委員と安全教育を担当する教員との協議を踏まえ、最終的には学校が決定します。
5	狭山台のけやき通りを渡る際は、信号のある交差点を渡らせた方が安全だ	
6	学校を選べる特別許可地区の場合、兄弟姉妹が別々の中学校に入学することを許可してほしい	兄弟姉妹で進学希望先の中学校が異なる場合、別々の中学校に入学することは可能です。

制服等について

No.	主 な 意 見 ・ 要 望	対 応 等
7	狭山台中学校の制服はどうなるのか	狭山台中学校の制服の扱いについては、東中学校と狭山台中学校の校長、教頭及び教務主任並びにPTAの正副会長で構成する制服検討委員会において、現在検討を行っています。
8	狭山台中学校は創立40周年を迎えることもあり、統合を機に制服のデザインを一新してほしい	
9	制服の色は東中学校のような紺系がいい	
10	茶色で定着している現在の狭山台中学校のデザインのままがいい	
11	統廃合後は、体育着やジャージ、上履きなどはどうなるのか	それぞれの学校で指定します。
12	東中学校で現在使っている制服やジャージなどは、経済的な負担がかからないように、学校が変わってもそのまま使えるようにしてほしい	基本的には入学時に購入した制服等を卒業するまで着用することになりますので、統廃合により学校が変わった場合でも、制服等を新たに購入する必要はありません。
13	平成27年4月に東中学校に入学する生徒は、どの制服を買えばいいのか	東中学校の指定の制服や体育着を購入し、学校が変わっても、そのまま使用することになります。
14	身体に負担がかからないように、スクールバッグをリュック型に変えるか、市販のリュックサックの使用を認めてほしい	学校指定用品の取扱いは、各学校の判断によります。

施設整備について

No.	主な意見・要望	対応等
15	狭山台中学校のトイレを明るくきれいにしてほしい	統廃合に伴い、トイレについては、一部洋式化を含めた改修を予定しています。
16	狭山台中学校に洋式トイレを増やしてほしい	
17	狭山台中学校に自転車置き場を増やしてほしい	自転車通学を許可することになった場合は、必要な規模の駐輪場を整備します。
18	中央中学校の教室は足りるのか	普通教室を現在の12教室から15教室へ増やすための改修を行い、必要な教室数を確保します。

その他

No.	主な意見・要望	対応等
19	学校運営は狭山台中学校と東中学校のお互いの良いところを合わせてほしい	関係する学校間で組織する準備委員会で、両校のこれまでの取組を活かすことなどについても協議・調整を行います。
20	中学3年生は受験を控えているので、統廃合により、成績や内申の面で不利にならないようにしてほしい	統廃合後も、教員は、区別なく公平に生徒の指導にあたりますので、高校受験の面で不利が生じることはありません。
21	東中学校にある部活動は全て狭山台中学校につくってほしい	東中学校に設置されている部活動のうち、狭山台中学校にないものについては新たに設置します。
22	東中学校の先生も一緒に狭山台中学校に異動させてほしい	統廃合に限らず、教員は定期的に異動することとしており、このなかで可能な限り配慮します。
23	狭山台中学校は生徒の人数が増えるので、副担任を1クラス1人つけてほしい	副担任を各クラスへ配置することは予定していませんが、統廃合当初は、市費採用の臨時教員を配置するなどして、生徒の指導や相談に遺漏のないように対応します。
24	心のケアは万全の対応をお願いしたい	事前交流などを通して、統廃合に対する生徒の不安を払拭するとともに、統廃合当初は、市費採用の臨時教員とともに相談員を常時配置して、生徒の相談に遺漏のないように対応します。
25	統合する前から、お互いの学校の生徒がコミュニケーションを取り合える機会があれば、統合後も安心して過ごせるのではないか	統廃合後の中学校生活に対する不安を解消し、統廃合当初から円滑な学校運営が図られるように、学校間において、学校行事の合同実施等の事前交流を適宜実施します。
26	統合後のクラス編成では、東中学校と狭山台中学校の生徒が混ざることになるのか	両校の生徒が混合する形でのクラス編成が基本になります。
27	東中学校でPTAの役員を経験した人は、統合先の中学校のPTAでは役員を免除してほしい	PTAのなかで協議することになります。
28	東中学校の跡地は、子供が気兼ねなくボール遊びなどができるグラウンドや遊具、林を兼ね備えた公園にしてほしい	東中学校の跡地の活用方法については、市として、全庁的な視点から今後検討していきます。